

乳幼児や老人は特に注意を

以前、私の診療所で数年分の細菌性腸炎（集団で発生すれば食中毒）のデータをまとめたことがあります。平均すると細菌性腸炎は週に1人くらいの割合で診断されていました。

焼き肉は十分に火を

その中で一番多かったのはカンピロバクターという細菌による腸炎で、小児の細菌性腸炎の半分弱を占めていました。便に鮮血が混入することも多く、発熱もします。この菌は鶏肉によ



食中毒は乳幼児や老人が発症しやすい

く見られますが、牛や豚の肉にも潜んでいます。野外のバーベキューでお腹をすかせた小中学生が十分に火の通る前に食べたのか、集団で発症したのを診たことがあります。焼き肉は十分に火の通ったものを食べた方が賢明です。

次に細菌性腸炎の3分の1を占めるのが、O157で有名になった病原大腸菌でした。病原大腸菌は血清型で現在約190種類に分類され、O157はその一つです。野菜、肉などを介して感染しますが、その型によって水のような下痢から血便までいろいろな症状があり、O157のようにペロ毒素を出して重症化させるものもあります。細菌性腸炎の6分の1はエルシニアという菌が原因でした。この菌は通常の培養検査では見つけにくく、検査に時間がかかることもありますが、一般的に胃腸の症状は軽いことが多いようです。菌は冷蔵庫の低温でも生き続けます。

血便伴うサルモネラ

残りの9分の1がサルモネラという有名な菌でした。血便を伴うことも多く、弁当などを介して集団で発症する、いわゆる食中毒になることもあります。サルモネラの下痢は治まりにくく、下痢が治まってからも何カ月もサルモネラが便から検出されることもよくあります。

サルモネラは両生類や爬虫類の常在菌で、特にカメはほとんど持っていると考えた方がよいでしょう。サルモネラの胃腸炎と診断された子どもが飼っていたカメの水槽からサルモネラを検出したことが数例あります。当然、学校や幼稚園でカメを飼うことは集団発生の危険をはらんでいます。また、鶏の卵にサルモネラがよく付着していることが分かり、厚生省が2年前に鶏卵の取り扱いについて通達を出しました。鶏卵には生産業者、賞味期限などの表示を義務づけ、流通段階



今月のドクター
渡部 礼二

ではできる限り低温で保存することを求めています。買った卵はなるべく早く冷蔵庫に入れ、割れた卵は生で食べないように注意も呼び掛けています。生卵には注意しましょう。

日常的に感染の可能性

サルモネラや病原大腸菌による腸炎と診断された子どもの家庭では、症状がない家族でも病原菌を持っている人がよくいます。病原菌を摂取した全員が発症するわけではなく、乳幼児や老人が発病しやすいのです。

このように病原菌に感染する可能性は日常的にあります。細菌性腸炎かどうかを診断するには便を検査する必要があります。なので、医療機関で受診する際には紙コップなどに便を直接取ったもの（水につかっていない）か、オムツのままの便を持参してください。

わたなべ、れいじ
わたなべ小児科医院院長
金沢市泉本町5-5-1、52歳

J-PHONE

手の中にいつも、「J-スカイ」。

SKY

注目の新サービス「ステーション」

- ホットな最新情報をいつでもあなたの手元にお届け!
- 自分からアクセスしなくても、ニュースやタウン情報、オリジナルキャラクタなどを自動的に受信!!

最大3,000文字が送れる、受けられる。
 ●アニメが動く!メロディも送れる!
 ●全角192文字までは受信無料!!
 ●最大72時間リトライで確実に届く!!

カラコンテツで楽しめる!!
 ●インターネットに接続できる!

J-フォン西日本

- 北沢お客さまセンター ☎0088-227-157 無料 / J-フォンからおかけの場合157 無料
- ホームページ <http://www.j-phone.com>